

助成事業実施報告書

団体名 こたにがわ学園代表者・役職名 氏名 理事長 小谷川 元

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

新園舎環境整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成16年7月13日 子育て・教育支援を展開する 特定非営利活動法人 誠心会 設立し、同年9月1日「こたにがわ学園」を自主運営で開園しました。平成20年10月31日 第2種社会福祉事務所の届出をして、児童自立援助ホームとして再出発をしました。平成26年5月1日 定員増のため新園舎を建築して移転しました。現在の会員数16名であります。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

一日も早く、子ども達が安心して生活できる環境を整えることが第一の目的であります。新園舎での生活が8ヶ月を経過しましたが、実際に生活を始めると必要な生活品や事務用品等新たに必要となる物品もあります。措置費は増えましたが、昨年より新たに2名の職員を採用したため、運営するための資金確保が難しい状況です。是非お力添えを賜りまして、子ども達の生活環境を整えたいと考えて今回申請させていただきました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

子どもが勤務する上で必要な物品は、次の通りです。勤務先まで自転車通勤をしておりますが、台数が不足しているのと同時に、雨ざらしになっているため、自転車とサイクルポートが必要です。また、子どもが生活する上で必要な物品は、次の通りです。毛布、スリッパ、ふとんクリーナー、トイレトーパー、レターパック、本棚、玄関マット、ティッシュ、防音テープ、食器、茶碗、敷布団カバー、まくらカバー、蛍光灯、テーブル机、クリーナーといった生活に必要な物品も不足しておりますので必要です。周辺機器等の消耗品も不足しております。実際の住居状況に応じた内容で購入しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

国や県から約1万円程度支弁されますが、その中で食費や水道光熱費、消耗品等を購入するのは大変難しく、新園舎で生活を進めるための消耗・備品が十分に用意されていない状況でした。今回の事業である程度の品物がそろい、子ども達は安心して生活ができるようになりました。このように、新園舎の環境整備に置きまして、貴団体のお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

生活に必要な消耗・備品は、入園する人数や生活状況を予想して準備を進めますが、実際のところ消耗・必要物品は、変化いたします。それを見込んで計画を立てる難しさが課題です。今後も、児童数や勤務先によっては、更に必要なものが増える事、開園以来使用している備品が更新を迎えている状況もあり、購入計画を立てる必要があります。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

